

2019年度中学生まるびい アートスクール「考え方を考える」実施のご案内

今年のテーマは「魔法のぱいれ一つ」！

アートを通じて海賊的な存在について子供たちとともに考えていきます。



1



2

1,2 2018年度の「中学生まるびいアートスクール」ワークショップ「魔法のこすちゅーむ」の様子
(左) シロくま先生、(右) 椿昇

金沢市内の中学校を対象としてアーティスト・学校・金沢21世紀美術館が協力して、中学生による美術鑑賞・制作のワークショップを行う「中学生まるびいアートスクール」。9年目となる2019年度は金沢市内の3校と連携し、美術部員の生徒たちがアーティストとともにワークショップに取り組みます。本事業の成果及びワークショップの過程は美術館・生徒・教員が協力して記録し、記録集を作成するとともに、展覧会の形で発表します。ワークショップ3回目となる10月19日はアーティストの椿昇さん、シロくま先生がそろい、ワークショップ最終回の12月1日は参加者全員で展示作業を実施予定です。10月19日、12月1日の回をぜひ取材いただき、アートを通じた子どもたちの成長をお伝えいただきたくよろしくお願いします。

イベント名	2019年度中学生まるびいアートスクール
期間	ワークショップ(全5回):9月16日(月・祝)*実施済み、10月12日(土)、10月19日(土)、 11月10日(日)、12月1日(日) ※9月16日、10月12日・19日、12月1日は10:00~16:00、11月10日は13:00~16:30 展覧会:2019年12月7日(土)~19日(木) 座談会:2019年12月8日(日) ゲスト未定 記録集:2020年2月刊行予定
会場	金沢21世紀美術館 キッズスタジオほか
連携協力校	金沢市立城南中学校、金沢市立紫錦台中学校、金沢市立金石中学校 ※3校の美術部員 合計約45名を予定
アーティスト	椿昇(つばきのぼる)(現代美術作家、京都造形芸術大学教授) シロくま先生(アートディレクター、京都造形芸術大学准教授)
主催	金沢21世紀美術館[(公財)金沢芸術創造財団]
共催	金沢市中学校文化連盟

取材申込み/問合せ先

金沢21世紀美術館 広報担当:落合、石川(広報室)、事業担当:木村(交流課)、山下(学芸課)
〒920-8509 金沢市広坂1-2-1
TEL 076-220-2814 FAX 076-220-2802
<http://www.kanazawa21.jp> E-mail: press@kanazawa21.jp
※ご取材の際には、事前にご連絡をお願いします。



中学生まるびい アートスクールとは？

金沢 21 世紀美術館は、その特徴の一つとして「子どもたちとともに成長する美術館」を志しています。

「まるびいアートスクール・プログラム」は、地域の学校と連携し、美術館が媒介となって作品と作品を創った人（アーティスト）と作品をみる人（鑑賞者）が出会い、つながり合うことを目指して継続しているプログラムです。特に多感な成長期を過ごす中学生を対象とした「中学生まるびいアートスクール」のプログラムは 2011 年からスタートし、作品を生み出すアーティストたちの多様な発想と表現に、五感を使って身体全体で出会い、触れ合う体験を通じて、世界にはいろいろな感じ方、見方、考え方、表現の仕方があることを理解する力や他の人を思いやる想像力、そして生きる力につながる創造力が養われるよう願っています。

今年度のテーマ 「魔法のぱいれーつ」！

漫画「ワンピース」や映画「パイレーツ・オブ・カリビアン」の根強い人気や、日本の中世の海賊を描いた「村上海賊の娘」が本屋大賞を受賞するなど、海賊（パイレーツ）はフィクションのキャラクターとしてなじみがあるものの、実際には強奪や犯罪のイメージがあります。しかし、古くは国や領主を相手に渡り合い、公（パブリック）と私（プライベート）の立場を変えながら、海と陸を行き来する存在でもありました。現代の経済構造や国家間の海域の問題なども踏まえつつ、海と陸、公と私、自由と束縛、生と死、境界を越境する者としての海賊（パイレーツ）を様々な視点から解体し、アーティスト、大学生、そして中学生の感性によって、再構築します。

アーティスト プロフィール

椿昇（つばきのぼる）

現代美術作家、京都造形芸術大学教授



3

シロくま先生（しろくませんせい）

アートディレクター、京都造形芸術大学准教授



4

広報用画像

画像 1～4 を広報用にご提供いたします。

ご希望の方は下記をお読みの上、広報室へお申し込みください。

画像お申し込みフォーム

https://www.kanazawa21.jp/form/press_image/

【使用条件】

※広報用画像の掲載には各画像のキャプションとクレジットの明記が必要です。

※トリミングはご遠慮ください。作品が切れたりキャプション等の文字が画像にかぶったりしないよう、レイアウトにご配慮ください。

※情報確認のため、お手数ですが校正紙を広報室へお送りください。

※アーカイヴのため、後日、掲載誌（紙）、URL、番組収録の DVD、CD などをお送りください。以上、ご理解・ご協力のほど、何とぞよろしくお願いたします。